

Google Jamboard を活用した「話す」活動 (SUNSHINE ENGLISH COURSE 1 PROGRAM 2 1-B の生徒たち)

①話・発

②協・発

③タブ

④Google Jamboard

【ここがポイント！】

【Google Jamboard による思考の整理】

Jamboard の付箋機能を活用し、自分の「放課後の過ごし方」を紹介するためのキーワードを日本語で入力する。また、そのキーワードを用いてつながりのある内容にするためには、どの順番で伝えたらよいかを考えさせる。つなぎの言葉 (and, but, so, because など) も画像に加工して動かせるようにし、キーワードとキーワードをつなぐイメージを視覚的に捉えさせる。

【実践の目標】

聞き手に分かりやすいように順序を工夫して、自分の放課後（または週末）の過ごし方を英語で紹介することができる。

【実際の場面】

1. 自分の「放課後の過ごし方」についてキーワードを入力し、そのキーワードをどの順番で伝えるかを考える。

思いつくキーワード(卓球, 楽しいなど)を付箋で Jamboard に貼った。また、キーワードとキーワードをつなぐために、どのつなぎの言葉をどこで使うのかを個人で考えた。



2. ペアで「放課後の過ごし方」について紹介し合う。

キーワードとつなぎの言葉を使い、英文で紹介し合った。Jamboard は相手に見せず、自分のキーワードや順序の確認のために使用した。

3. グループで表現について分からないことを解決する。

1 回目のペア活動で、うまく表現できなかったところを調べたり、より分かりやすくするための順序をグループで話し合ったりした。

4. 修正した内容で、新しいペアの人と紹介し合う。

グループで互いに話し合ったことを基に、もう一度紹介する活動を行った。その後、難しかったことや分からなかったことを全体で共有しながら、ペアの組み合わせを変えて2回紹介する活動(計4回)を行った。

5. 話したことを、英作文で再現する。

話した内容について、つづりや語順の正しさ、つなぎの言葉の位置を意識しながら英作文をした。

6. ALT とのパフォーマンステストを行う。

「週末の過ごし方」にトピックを変え、ALT に一人一人紹介した。ALT からは内容に関連した質問をしてもらい、即興で2文で答えるようにした。指導者はALT と一緒に内容や姿勢について評価した。

【成果と課題】

【成果】

○相手に分かりやすく伝えるための順番を考えさせるのに、Jamboard の中でつなぎの言葉も動かせるようにしたことが効果的であった。

○Jamboard を活用することで、ペアを変えて紹介することに内容の修正が容易にでき、回数を追うごとに内容の質が高まった。

【課題】

○Chromebook のキーワードを見ながら活動してしまい、アイコンタクトがおろそかになってしまう生徒が多くいたため、事前の指導が必要であった。

○単元末のパフォーマンステストは録画して提出させ、指導者が発音など細かいところまで生徒一人一人にフィードバックできれば良かった。

世羅町立世羅西中学校

My after school
私の放課後の過ごし方

走る 陸上部 楽しい メンバーが楽しい 楽しい
because is because but
so and also

